

令和2年度第1回パートナーシップのまちづくり推進会議次第

令和2年10月12日（月）
午後7時から
茅野市ひと・まちプラザ集会室

1 開会

2 会長あいさつ

3 会議事項

（1）準備委員会からの報告について（5分）

（2）事例発表（35分）

①玉川ケヤキフェスの取組について（15分）

②ほろ酔い座談会の取組について（10分）

③新型コロナウイルス感染期における活動再開の考え方（10分）

（3）パートナーシップのまちづくりの活動再開に向けて大切なこと（55分）
～活動再開に向けて大切なこと・わからないことをみんなで考える～

○グループワーク（30分）

・テーマ 「～活動再開に向けて、今できること～」

○グループ発表（10分）

○まとめ（15分）

（4）その他

4 閉会（午後8時45分頃）

.....
○パートナーシップのまちづくり推進会議の役割

- ① パートナーシップのまちづくりに関する情報や意見の交換
- ② パートナーシップのまちづくりを推進するための連携や協力
- ③ パートナーシップのまちづくりを推進するための啓発事業の企画、実施

玉川ケヤキフェスト 玉川ケヤキウェイーク

2020.10.12

パートナーシップのまちづくり推進会議 事例報告

玉川ケヤキフェス準備室

玉川ケヤキフェスの紹介

- リーフレット
- [玉川ケヤキフェス2018PV](#)

玉川ケヤキフェスのしくみと 盛り上げりの秘訣

- 玉川きずなプラン
- [ゆいわーく通信（12号）](#)
 - 実施要領

ケヤキウィークの発端

- コロナ禍で気づいたこと。
 - それは、ひととひとのつながりの大切さ。
- ケヤキ準備室での議論
 - コロナでケヤキフェス中止は止むを得ない。でも、悔しい。このまま地域のつながりを絶たれたままでもいいのか！
- 逆転の発想
 - 集まれないなら出かけちゃおう！
 - もともとケヤキフェスのコンセプトは「玉川の魅力再発見」だから。

玉川ケヤキウィークの紹介

- パンプ
- 新聞記事
- Facebookページ
 - [オープニングミニライブ](#)
 - [高木先生学習会](#)
 - [ケヤキ並木ライトアップ](#)
 - [玉川セルリ即売会](#)
 - [ケヤキウィーク、紙ヒコーキデザインコンテスト](#)
 - [Aコープファーマーズサンライフ店](#)
 - [玉川あいさつ運動](#)
 - [たまがわっ子応援隊作品展](#)
 - [子育て部会](#)
 - [最終日の様子](#)

来年度以降の展開

- ケヤキウィークも毎年開催に
 - Withコロナでもafterコロナでも開催OK
 - 10月第1日曜日のケヤキフェスをはさんで開催
 - 毎年10月第1週は玉川が熱い！賑やか！...てなれば
いいなあ、と。

コロナに負けない、玉川づくり
のキックオフに

- 象徴的な高木先生学習会
- 「ほろ酔い座談会」へ

玉川ケヤキフェスの取組について

〇ゆいわーく通信Vol. 12 (2019年2月号記事)

あらゆる主体による協働のまちづくり さまざまな活動団体

玉川地区コミュニティ運営協議会構成団体 × 企業・商店・事業所 × 学校 × 公共機関 × ゆかりの人々
(区長会、分主会、地区社協、子育て部会、環境部会、消防団)

玉川ケヤキフェス2018 ー第11回玉川コミュニティまつりー

開催日 2018年10月7日(日)
(毎年10月の第1日曜日)

会場 玉川小学校周辺

主催 玉川地区コミュニティ運営協議会

テーマ 人と人の絆を大切に、安心して
元気に楽しく暮らせる玉川

内容

玉川のシンボルである玉川小ケヤキ並木の歩行者天国を中心に、玉川マルシェ、ケヤキカフェ、お祭り屋台、玉川EXPO、キッズナードといった多彩な企画で開催。運営スタッフは約300名、参加団体は玉川運協構成団体の他、企業、飲食店、商業者、農業者、製造業者、サービス業者、茅野警察署、諏訪中央病院、福祉施設、東海大学付属諏訪高等学校、公立諏訪東京理科大学学生、プロミュージシャン、会社員等83団体約300名。



Q1 さまざまな人・モノ・コトを つなげる関係づくりで工夫したことは?

昭和50年代に始まった「思いやりのある玉川づくり大会」が平成17年に「玉川コミュニティまつり」となり続いてきましたが、マンネリ化のため平成27年に一大リニューアルを行い、「玉川ケヤキフェス」となりました。『玉川の魅力再発見』をキーワードにして、区、各種団体、学校、飲食店・商店・事業所といった民間のみならず、玉川ゆかりの人・団体なら誰でも出展(出店)OKとしました。部会のコーナーはそれぞれの部会目標をテーマにして「楽しく」「ためになる」内容に企画をしました。

Q2 その効果は?

飲食店や事業所などさまざまな人たちの出展(出店)が、もう一つのキーワードである『楽しむ』ことにつながり、来場者にとって魅力のひとつになったと思います。一方、出展(出店)者にとってはPR機会と自らの魅力の再発見、収益の場となり、また小中学校、高校の子どもたちには地域で自分たちが活躍できる場となりました。

運協の各部会にとっては、部会員が本来の目的で楽しく有意義に参加することができました。

このように全ての人にとってWin-Winの機会となったケヤキフェスは、来場者もスタッフも皆笑顔で楽しく過ごしながら、それぞれが玉川の魅力を再発見し、玉川のつながりを実感する場になったと思います。

Facebook:「玉川地区コミュニティ!」

事務局:玉川地区コミュニティセンター Tel:0266-71-1605

関係づくり の ポイント

- 「ムリなく」「楽しく」「ためになる」を念頭に
- 玉川ゆかりなら誰でも声がけ～運協というプラットフォームであらゆる主体同士をwin-winでつなぐ
- キーパーソンを見出す
- 繰り返し丁寧な説明で「目的」「テーマ」を共有
- 志を共有した仲間と共に
- コミュニティセンター職員の地域コーディネーターとしての役割



ケヤキフェス準備室メンバー
前玉川地区コミュニティセンター所長
矢嶋 浩行

コロナ君、 感染の旅をゆく

福祉21茅野（茅野市の21世紀の福祉を創る会）公式パンフレット



私たちの世界に突如生まれた新型コロナウイルス
このウイルスも他のウイルスといっしょで
ただいっしょうけんめい人から人へ感染して
ただいっしょうけんめい仲間を増やしていきます

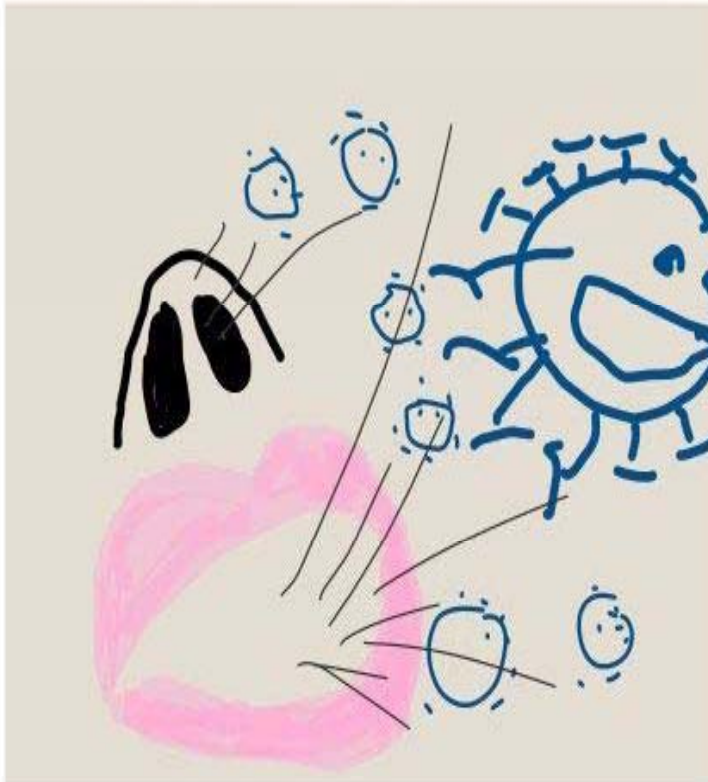
感染するといろいろ辛い目にあうのがこの感染症
だからどうやってこのウイルスは感染するのか
どうやったら自分の身を守ることができるのか
それを勉強していきましょう

登場するのは新型コロナウイルスのコロナ君
まずは彼のあとを追ってみましょう

※ウイルスはこんな姿ではありませんし顔也没有せん

1. 旅立ち

旅立ちは口・鼻から咳・くしゃみ・おしゃべりと共に



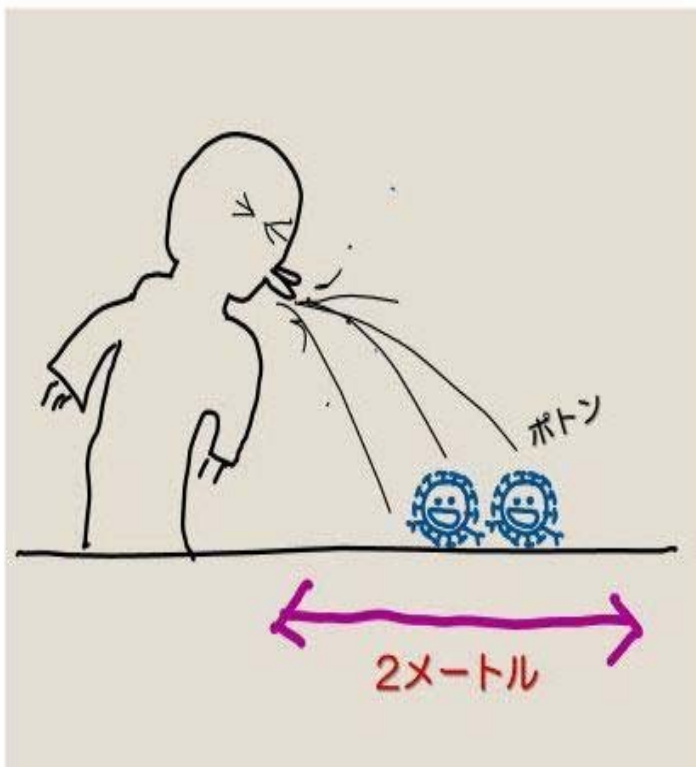
コロナ君たちは私たちののどや鼻、気管支などで仲間を増やし、それから咳やくしゃみ、会話、笑うなどしたときのしぶき（飛沫＝ひまつ）に混じって外へ飛び出します。

コロナ君たちは次の感染先を求めて旅立っていくのです。

※感染者がうがいした液の中には数万個のコロナ君がいるそうです

2. 旅路

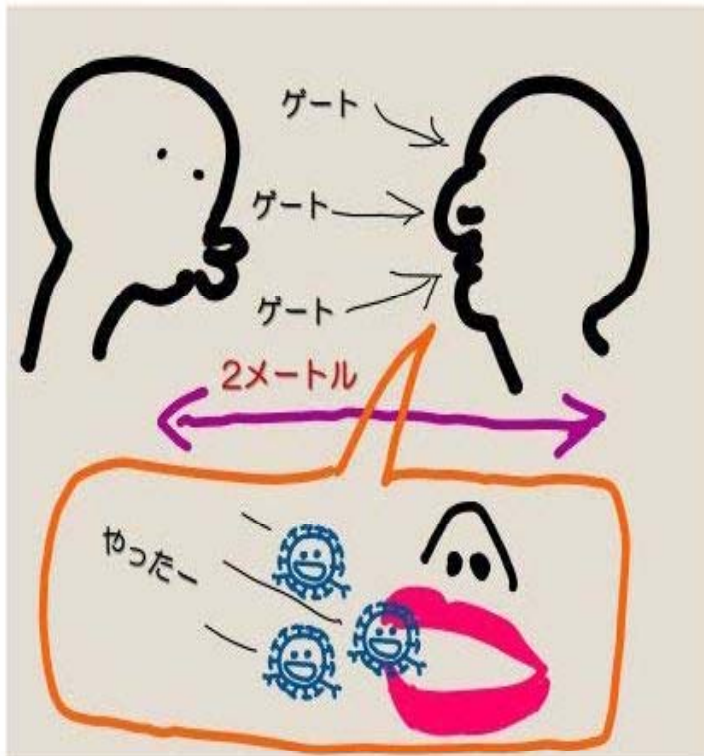
はるばる遠く(?) 2メートル先まで



コロナ君たちは飛沫に混じって空中をはるばる1~2メートル飛んで床や地面、テーブルなどの上に落ちます。残念ながらコロナ君にはこのあとはどうしようもありません。鳥や虫みたいに羽ばたく翼はないしカエルみたいにジャンプする足もないのです。そしてそのうち壊れてしまいます。

※床に落ちるとき「ポトン」なんて音はしません

3. 次のゲートへ！



あなたにそばにいてほしい

でももし、その1～2メートルの間にゲート、すなわち別の人の口・鼻・目があれば、そしてそこにうまく飛び込むことができればコロナ君の感染の旅は成功です。

飛沫の中のコロナ君、ゲートの奥の粘膜という、しっとりした部分の細胞に入り込んで仲間を増やし始めるのです。

これを「飛沫感染」と言います。

※ウイルスは「やったー」なんてしゃべりません

4. もう一つの旅路



コロナ君には運び屋がいるのさ

実はコロナ君には、別の人のゲートに入るためのもう一つの旅路があります。そしてこれには運び屋がいます。それは「手」です。

1時間に20回以上、私たちは無意識に顔、口・鼻に触っています。もしその人が感染者だったら・・・また感染している人が咳やくしゃみの時に手のひらでそれを受けたりすると・・・

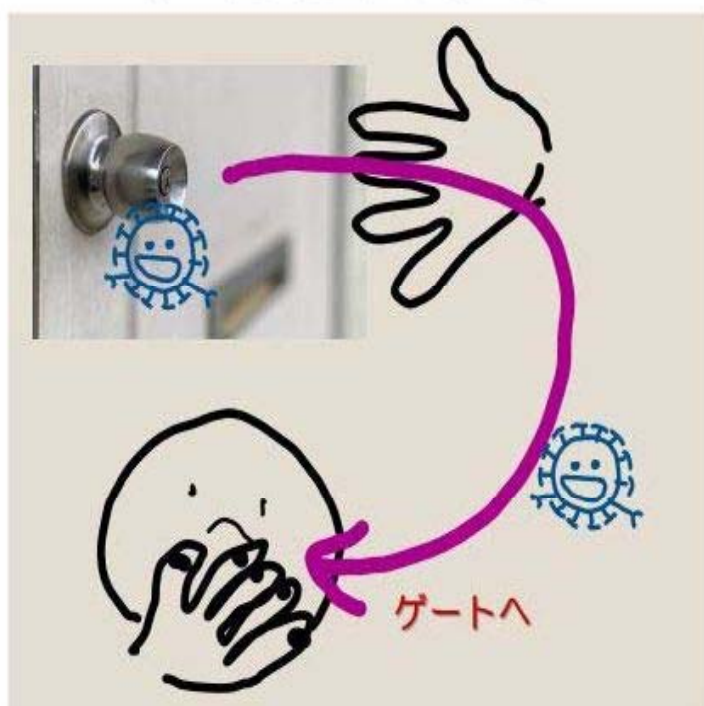
※今更ですが
コロナ君たちは目に見えません

5. 手から次は？ 触って触って置いていく



手にくっついたコロナ君はその手が触ったものにくっつきます。テーブルの上に落ちた飛沫も含めてこうした環境表面のウイルスはしばらく（時に3日程度）生きていますと言われています。

6. 待ち人来る 次の運び屋の到来、顔のゲートまで運んでね



ドアノブやテーブル上のコロナ君たちはじっと次のチャンスを待ちます。そのチャンスとは、別の人の手が触れてくっつけていてくれることです。つまり第2の運び屋ですね。この手が、何気なく自分の顔に触ってくれば・・・ゲートへの道のりはあと一歩です。これを「接触感染」と言います。

※コロナ君は手の皮膚からはからだの中には入れません

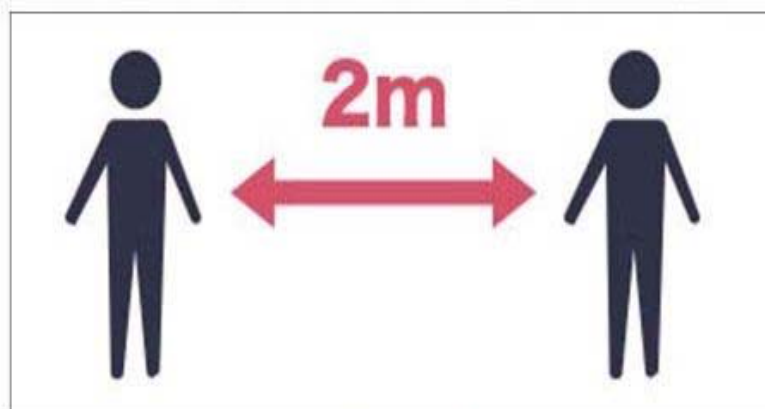
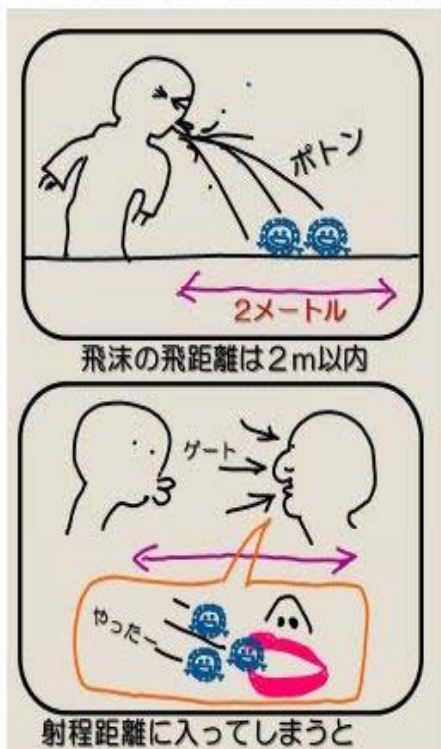
コロナ君の感染の旅を阻止する！その①



ユニバーサル・マスキング

飛沫を飛ばさないためにマスクをします。またマスクをしていると不用意に顔に触らなくなりますね。
 コロナ君が感染しているのに症状がなく元気な人もいます。でもそんな人からも周りには感染します（▶8ページ③）。元気だけとかかっているかもしれない・・・そう考えて人がいるところへ行くとときにはいつでもみんながマスク。自家製マスクでもかまいません。楽しくマスキング！を。

コロナ君の感染の旅を阻止する！その②



フィジカル・ディスタンス

最低1m、できれば2m間隔があれば飛沫は飛んでこない

人と人との距離が2m開いていれば飛沫は届きません。その場所が換気がよくできていれば、また屋外であれば（風が吹いていれば風下を避けて）なお安心です。この理屈でいけば、フィジカル・ディスタンスがとれていればマスクをはずして一息入れることも可能です。

コロナ君の感染の旅を阻止する！その③



触って触って置いてゆく

あちこちに飛沫とともに付着したコロナ君、アルコールや次亜塩素酸ナトリウムが苦手です。

次亜塩素酸ナトリウムはノロウイルスにも有効なので一石二鳥です。

1日2～3回の拭き掃除でも有効ですよ。



濃度 0.05% に薄めた上で、拭くと消毒ができます。

【注意】

- ・家事用手袋を着用して行ってください。
- ・金属は腐食することがあります。
- ・換気をしてください。
- ・他の薬品と混ぜないでください。

コロナ君の感染の旅を阻止する！その④



手が運ぶんだ

コロナ君も、インフルさんも、ノロちゃんも、手にたくさんくっついたとしても、手の皮膚からは感染は起こしません。

その手でウイルスの大好きな口や鼻や目の粘膜（表面のしっとりしている部分）に触るとそこから感染を起こします。手洗いはそれを防ぎます。

石けんやハンドソープを使った丁寧な手洗いを行ってください。



手洗いを丁寧に行うことで、十分にウイルスを除去できます。さらにアルコール消毒液を使用する必要はありません。

手洗い		残存ウイルス
手洗いなし		約100万個
石けんやハンドソープで10秒もみ洗い後流水で15秒すすぐ	1回	約0.01% (数百個)
	2回 繰り返す	約0.0001% (数個)

(森功次他：感染症学雑誌、80:496-500,2006 から作成)

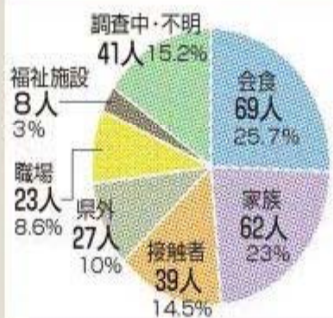
感染発生の危機！

『濃厚接触』

「濃厚接触者」の新しい定義

「感染するかもしれない期間」に次の条件で接触

距離が1m以内 + マスクなし + 15分以上会話



例えば宮崎県の
2020年8月
おおよそ半分か
会食と家族
この2つは
濃厚接触になり
やすい

どういう時に感染が起きてしまうのか。
それは“濃厚接触”があったときです。
具体的には

- ①1m以内の距離で
 - ②お互いマスクをせずに
 - ③15分以上おしゃべりをした
- という状況です。

もしその時の相手が新型コロナウイルスに
感染していることが分かったら
あなたは濃厚接触者として健康観察や
検査を受けることになります。
こうした濃厚接触が起きてしまうのが会食
(特に飲酒を伴う時)と家族生活の場。
この2点には特別の注意が必要です(➡8
ページ②)。

※健康観察期間は潜伏期を考えて14日間

コロナ時代の私の1日



朝起きたら体調を確認
調子悪ければ休みましょう



お出かけの時は
マスクを忘れずに



仕事中は飛沫を受けない
工夫と、細目な手洗い。
みんなが触れるところを
ハイターなどで清掃を。



お帰り。帰ったら
まず手洗い！



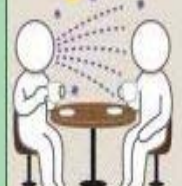
買い物は短時間で。
スーパーなどの入り口の
消毒薬は、入る時と出る
時と、両方使って。



遊ぶなら
ぜひ外で！



食事や休憩などマスクを
はずす時には感染のリス
クがとても高まります。
距離を取る、大きな声で
お話ししない、時間差で食
事をする、など工夫を。
もちろん食事前には
手洗いを。



①「リスク」ということ

- 感染症にはかかりたくはありませんが、その危険性＝リスクをゼロにすることは現実的には不可能です。
- ですので「リスクを少しでも下げる」・・・これを考えながら生活をしていくことになります。
- もし狭い密室にたくさんの人がひしめいていたら「ここはリスクが高い」と考えます。広い公園で、十分な距離がとれる中でマスクをはずして運動することは「リスクは低い」でしょう。車に一人で乗って運転しているときもリスクは低く、だからマスクをはずしても大丈夫と言えます。
- 手洗いもマスクもフィジカル・ディスタンスも「リスクを下げる効果がとても大きい」ため推奨されます。
- 今自分のいる場所、自分のしていることのリスクを測り、それに合わせてそのリスクを下げる方法で対処すること、それを考えるために「コロナ君、感染の旅をゆく」をぜひ活用してください。

②「濃厚接触者」にならない

- 「濃厚接触」の定義をよく覚えておいてください。「1m以内、マスクなし、15分以上会話」でしたね。
- 現在の状況の中で濃厚接触者になりやすい場は「会食」と「家族」です。
- 会食では、3密を避ける、多人数・長時間を避ける、飲酒で大騒ぎを避ける、でリスクを下げることはできますが、それでも比較的リスクが高いと心得てください。
- 家庭内ではどうしてもリスクが高いため「家にウイルスを持ち込まない」ということが対策となります。

③新型コロナウイルスの経過

- 感染した場合、発症するまでの期間（潜伏期）は1～14日、5日くらいで発症することが多いようです。
- 人に感染させるのは発症2日前から発症後7～10日間程度とされています。
- 無症状、あるいはかぜ症状・嗅覚味覚障害程度の軽い症状で終わる人が80%、咳・痰・呼吸困難で入院治療を要する人が20%、そのうちの一部が重症化します。60歳未満では重症化するのは1%未満ですが、60歳以上になると重症化例が増えて、80歳以上になると23%が重症化しています。
- これまで日本では20歳未満で亡くなった方はいません。
- 無症状で終わる人、あるいは発症する前の2日間症状がまだない人からも感染は起きます。要注意です。

④会議・集会・イベント、温泉入浴

- 会議・集会・イベントについてはすべて禁止すべきとは考えません。参加者はマスクをして、あまり密にならないよう（マスクを皆がしていれば必ずしも2m開ける必要はありません）、可能な範囲で部屋の換気を行い短時間ですませましょう。ただし、会食はおすすめしません。
- 温泉施設については、浴室内は湿度が高く飛沫があまり飛ばないと考えられます。あまりくっつかなければリスクは低いと言えます。すいている時間を選んで行くのであればなおよいでしょう。
- しかし脱衣場、休憩室では注意が必要です。フィジカル・ディスタンスを取ったり、マスクを着用するようにし、くつろいでの大きな声での会話は控えましょう。あまり長居はせず、建物に入る時と出る時には手洗いあるいは手指消毒を行いましょう。

⑤子どもたち

- 子どもの成長には、遊び、交流し、体を動かし、学ぶ機会が必要です。感染を恐れるあまりそうした機会が奪われることのないようにしたいものです。
- 10代以下で重症化するとか命に関わるといったことがみられないことから、できれば自由にさせてあげられたらと考えます。むしろ子どもたちだけでの遊びや学びの場に、大人たちが感染を持ち込まないよう気をつけてあげる方が優先でしょう。
- 大人自身が感染から身を守り、子どもたちの中や家庭や学校にウイルスを持ち込まないようにします。また子どもたちの健康チェックと手洗いの習慣化を心がけましょう。